放課後子ども教室推進事業

自治体名

岩手県滝沢市

学校数

小学校　8校　中学校　6校

震災後の地域の状況・仮設住宅数

当村は内陸中央部に位置しており、津波浸水等の被害はなかったが、沿岸部で村民2名が犠牲になるとともに、道路被害が15件、建物被害が 1,208 件あった。避難所は14カ所で開設され、一時 712 名が避難した。（仮設住宅数：0）

＜取組名＞　～　地域で支える子どもの居場所づくり　～

取組概要

実施形態（該当に○）	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	（連携している団体等・大学の名称）
		○		
実施主体・場所等	**コーディネーター数**	**ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ延べ人数**	**年間実施日数（回数）**	**活動場所**
	1			滝沢ふるさと交流館

活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
					（　　）
学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
					（　　）
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
	○	○	○		（　　）
家庭教育・保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
					（　　）
地域課題に応じた学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					（　　）

【滝沢市放課後子ども教室「チャグホ塾」の活動概要】

1　目　　的　放課後や週末等における子ども達の居場所を提供し、様々な体験活動や地域住民との交流活動等を実施することを目的とし、放課後子ども教室を開設している。

2　取組構想　「安全に過ごせる居場所の提供」「より多くの交友関係を深める機会」「地域の成人との世代間交流の機会」「感覚的な感動体験を体得する機会」「自分自身の趣味・特技の開発の機会」

3　対象児童　近隣の小学校児童（H25 参加児童 111 名）

4　活動期日　平成25年5月9日～平成26年2月9日

5　時　　間　平日…午後3時～午後5時、土曜日…午前9時～午前11時半

6　活動場所　滝沢ふるさと交流館

7　活動内容

（1）自由活動（宿題、読書、紙遊び、お絵かき等）

（2）各種体験コース（賢治童話、紙細工、軽スポーツ、英会話、ミュージカル、お花、茶道、遊具づくり、わら細工、ひも細工、料理、将棋、オセロ、ダンス、自然探訪、布絵）

取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

- 市民2名が沿岸地区で犠牲になったことに加え、現在でも沿岸部で生活している家族や親戚の被災等に関連して、様々な影響が見られる。
- 震災時の様々な体験や支援活動等を通じて、従前から課題となっていた地域コミュニティの在り方について、本市においても改めて重要視されている。
- 放課後の安全・安心な子どもの居場所づくり等、地域ぐるみで子どもたちを支えていく体制を整えていく必要がある。

◇住民等からの要望・必要な取組

- 放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な居場所が求められている。
- 子どもたちの健全育成と地域コミュニティの構築を図るため、各種体験活動や地域住民の世代間交流を充実させる必要がある。

体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

- 事業のコーディネート及び教室運営は、特定非営利活動法人「劇団ゆう」がおこなっている。
- 27名の地域指導スタッフに各種体験活動の講師を依頼し、子どもたちに感動体験を提供するとともに、学びを通じた世代間交流の促進を図っている。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

- 保護者や地域住民との連携促進を図るため、チャグホ塾における各種活動をブログで紹介するとともに、活動の成果を披露する発表会を毎年開催している。

成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

- 感動体験の会得…なわとびができたことによる親子の喜び、各種自然観察・採集による郷土理解等
- 活動体験の拡大と前向き姿勢…各種活動内容の本格化、子どもの自主的・積極的姿勢の助長
- 家庭学習の機会提供…時間・場所・雰囲気の醸成、語り合い・学び合いによる学習習慣化
- 帰宅時間・施設利用の安全確保…安全確保情報連絡票・出席退館カードの利用、避難訓練の実施
- 公衆道徳学習の学習実践の場…公施設利用の実地学習、「挨拶」「荷物置き場」などの実践活動
- 指導スタッフの支援体制維持…継続的な協力に感謝、指導希望者の増加
- 継続的な地域貢献・郷土理解の活動…地域活動の拠点、自然探訪・栽培学習からの実感学習
- 情報提供の場の設定…ブログでの情報提供、発表会の実施
- 近隣小学校との共同歩調での取組体制確立…情報交換と問題点の解決

◇課題や今後の展望

- 活動スペース（場所）の確保の困難性…貸館業務との兼ね合い
- 館外活動場所（自然探訪・遊具づくり）への移動手段の確保…望ましい活動場所の選定・設営が困難
- 出迎え保護者の時間的不確定…安全指導員の対応が難儀
- 生活習慣形成の場としての条件不備…ランドセル・履物・傘等の置き場が未整備